

busworld®

EUROPE BRUSSELS



Busworld2023レポート②
観光、連接、二階建てEVバス編
株式会社東京アールアンドデー



TOKYO R&D



12mクラスの「TRIUMPH」を出展。2ドアのハイデッカー。定員は運転席、ガイド席を入れ51人。モーターは370kWでバッテリー容量は422kWh。車両総重量は19.5トンとなっている。内装も観光仕様だけあって豪華である。GOLDENDRAGONは他に路線EVバス2台を出展している。



12mクラスの「C12E」を出展。フロント1ドアモデル。モーターは350kWでバッテリー容量は423kWh。航続距離は300km。車両総重量は19.5トン。こちらも観光仕様だけあって内装も豪華である。KINGLONG他に路線EVバスを出展している。



12mクラスの「H12」を出展。2ドアモデル。モーターは370kWでバッテリー容量は351kWhのCATL製。こちらも観光仕様だけあって内装も豪華である。ZHONGTONGは提携しているリトアニアのALTAS AUTOが路線EVバスを出展している。



12mクラスの「LDSB E」を出展。モーターはTM4の250kWでバッテリー容量は350kWh。12mクラスと13mクラスがあり、定員は運転席、ガイド席を入れそれぞれ、59人と63人となっている。TEMSAは他にも路線EVと観光タイプのFCEVも出展している。



13mクラスの「e-TERRITO U」を出展。
モーターはVOITHの410kWに
450kWhのバッテリーを搭載し定員
は63人となっている。OtoKarは他
にも路線EVと自動運転EVも出展し
ている。



「EXQUI.CiTY 24」。その名のとおりに3連接24mと巨大(長い)。全幅は他の大型バスと同じ2.55m。定員は185名。一番後ろのタイヤもステアする4WSを採用。最小回転半径を小さくしている。カラーリングもそうだが、ドアにはPARIS 2024オリンピックのロゴが張られているので、パリに納入する車両と思われる。



全長18m「3.0 18M」。3ドアと4ドアモデルがあり、定員は最大150人。モーターは「ZF AVE130」と思われる
125kW × 2に250/350/500 kWhのバッテリー容量が選択でき、航続距離は最大700km。カーボンファイバーのボディパネルを採用しており350kWhのバッテリーを搭載した連接ボディで空車重量14,900kgと軽い。12mクラスの路線EVも出展している。



「ie tram」は見ての通りトラム型の連接バス「EXQUI.CiTY」同様タイヤもカバーで覆われている。全長18.7m4ドアで125人乗り。285kWのモーターに726kWhと大容量のバッテリーを搭載する。充電はパンタグラフとCCS2(コンボ2)に対応。全体デザインもトラム風だが、ガラスが腰下まであるのも特徴。ガラス面が多いのと内装も明るいカラーでトラムそのものである。



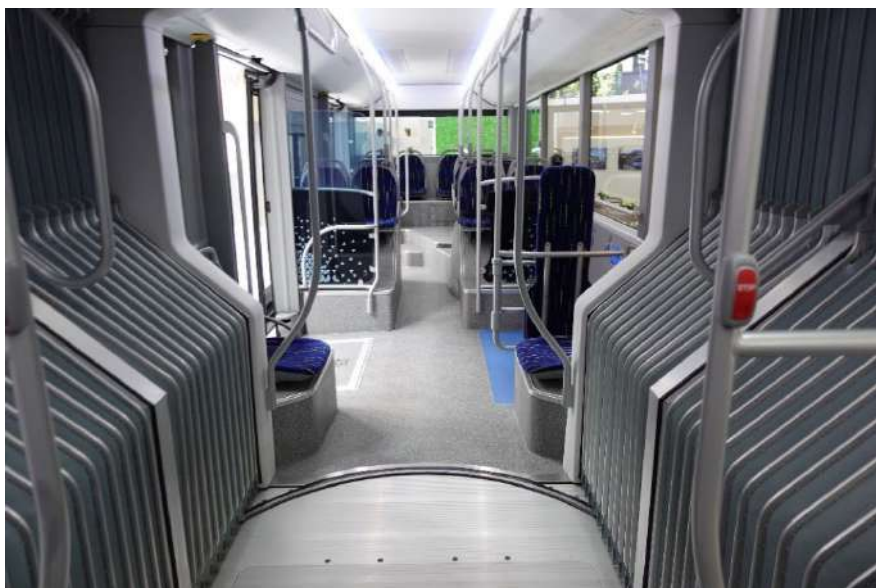
18mクラス4ドアの「18 ligh Tram」。定員は141人。フレームはHESSオリジナルのアルミ押し出し材をボルトで組み上げる「CO-BOLT」システムを採用している。また、充電もパンタグラフ式でCCS2（コンボ2）にも対応する。



18mクラス4ドアの「Urbino 18」。定員は160人。バッテリー容量は800kWhで今回のバスワールドで最大容量と思われる。充電はパンタグラフ式とCCS2のいずれか若しくは両方が選択できる。乗車定員を入れた車両総重量は29トンに達する。SOLARISは同じ連接モデルのFCEVも出展している。



19mクラスの「eBUS B19」。モーターは150kW×2のハブモーターを採用し、バッテリー容量は563kWhで航続距離は470kmとなっている。定員は140人。充電はパンタグラフ式とCCS2に対応する。車両総重量は29.5トンに達する。3ドアと4ドアモデルが選択できる。BYDは他にも、路線、ダブルデッカーを出展している。



18mクラスの「U18」。4ドアで定員は120人。240kW×2のモーターに液冷式の564kWhのバッテリーを搭載する。航続距離は500km以上。充電はCCS2を2口で行う。YUTONGは路線EV、ダブルデッカーEVも出展している。



11mのオープンバス「EV PANORA」を出展。モーターはZFの「AxTrax AVE」の250kWでバッテリー容量は280kWh。定員はロワーデッキ25(23+ドライバー+車イス)人、アッパーデッキ50人に立席8人の合計83人となっている。雨に備え、2階のオープンエリアには開閉式のキャンバストップが用意される。GULERYUZは路線EVも出展している。



BYDもUNVIと連携してダブルデッカー「BYD UNVI DD13」を出展。150kW×2のホイールハブモーターに最大484kWhのLFPのバッテリーを搭載。最大77人乗りで車両総重量は27トン。BYDもUNVIも他にEVバスを出展している。



11mクラスの「U11DD」を出展。モーターはZFの350kWでバッテリー容量は385と423kWhが選択できる。定員はローデッキ27人、アッパーデッキ43人に立席12人の合計82人(車イス含む)となっている。YUTONGは路線EV、連接EVも出展している。

あとがき

- ・本内容は、説明パネル、ヒアリング等をもとに作成したもので、情報に間違いがある場合など責任は負いかねます。
- ・一部の写真については、バスワールド主催者公表の写真を使用しています。
- ・本資料の無断転載等は禁止させていただきます。
- ・各社ロゴマークは、各社ホームページより引用したものです。
- ・本資料の情報を通じて、皆様の開発のお手伝いに貢献できれば幸いです。

お問い合わせ先: 株式会社東京アールアンドデー営業部
担当: 森竹智法 moritake.tomonori@tr-d.co.jp
住所: 神奈川県厚木市愛甲東1-25-12
電話: 046-227-1101
HP: <https://www.tr-d.co.jp/>